

6日目 9月24日

会 場: 県立浜山球場

第2試合		～準々決勝～																	
T E A M		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	R	H	E
飯 南		0	2	0	0	1	0	0	0	0							3	7	5
矢 上		0	0	0	0	2	4	0	0	X							6	10	1
(投手―捕手)																			
・ (飯)		岩本→川島 ― 迫田→原																	
・ (矢)		皆吉 ― 花田																	
(長 打)		(二塁打)						(三塁打)						(本塁打)					
・ (飯)		吉川																	
・ (矢)																			
(審判)〔球審〕		中島				〔一塁〕 本田				〔二塁〕 上手				〔三塁〕 佐々井					
(チーム成績)																			
チーム	打	安	点	二	三	本	振	四	犠	盗	残	併	守備	失	暴	ボ	逸	打妨	
(飯)	36	7	2	1	0	0	13	2	2	1		0		5	0	0	1	0	
(矢)	36	10	5	0	0	0	1	0	2	3		2		1	2	0	0	0	

「皆吉、13奪三振の快投！」

準々決勝は矢上と飯南の公立校対決となった。矢上の皆吉、飯南の岩本の両エースの投球が注目された。

先制したのは飯南で2回表に迫田が死球を受ける。この死球で飯南は正捕手が負傷退場するアクシデントに見舞われる。この後2死2塁となり遊撃手の悪送球で1点を奪う。続く吉川がレフト線を破る適時二塁打を放ち1点を追加する。飯南は5回にも安打と犠打、暴投で2死3塁とし3番鹿田の適時打で1点を追加し3点のリードを奪う。

流れが変わったのは5回裏で、飯南に連続で失策が飛び出し無死3塁となり9番上田の適時打が飛び出すと、盗塁で走者を2塁へ進め1番の花田の遊撃手強襲の適時打で矢上が1点差に迫る。続く6回には5番の西村から4連打が飛び出し、連投の疲れの見える岩本から3点を奪って矢上が逆転すると9番上田が犠飛を放ちリードを広げた。飯南打線は6回以降、ギアを上げた皆吉に8奪三振を喫し反撃できなかった。飯南は計5失策と守備が乱れたことが悔やまれる。

[illegible][illegible][illegible][illegible]